



1. 新しい友達と新しい教室で（2年生）/2. 開校式では市長から校長に校旗が手渡された /3. 入学式では月館学園最初の入学生たちに教科書が手渡された /4. 中学校3年生から新入生に向けた手書きのメッセージが昇降口に飾られた

「新しい仲間と一緒に」

4月6日、伊達市初の小中一貫校「月館学園」の開校式が行われ、佐々木透校長が「のびのびと勉強に取り組み、月館学園の新たな道を築いてください」とあいさつしました。生徒を代表し、中学校3年の太田明良さんが「それぞれの学校の伝統を引き継ぎ、月館学園として新たな歴史を作りたいです」と力強く述べました。新1年生も加わった入学式では、全校児童生徒148人で新しい校歌を歌う元気な声が体育館に響いていました。

市長コラム



第21回 この難局を乗り越えるためにしなければならないこと

新型コロナウイルス感染症が拡大しています。全国に緊急事態宣言が出され、人の移動抑制や外出自粛が要請されています。このウイルスに勝つには、何よりも人と人の接触を極力減らすことが重要です。接触を8割削減することで早期に感染を抑えることが出来ると言われています。親戚や友人と会いたい気持ちを抑え電話やメールで連絡をとるとか、大型連休で外出したい気持ちをぐっと抑え家の中で軽い運動や読書をするとか。皆さんの我慢と努力がなければこのウイルスを抑え込むことはできません。

そこで大事なことは日頃の対策です。こまめな手洗い、手指の消毒、できるかぎりマスクをつけるなど、そういった日常の感染防止対策を実施徹底することです。それから3つの密（密閉、密集、密接）を避けること、不要不急の外出も控えるようにしてください。日々の栄養、休養、適度な運動など、バランスのとれた生活を送り体調管理に努めていただきたいと思います。そして発熱など風邪の症状が少しでもある場合は絶対に通勤や通学はしないでください。どうか一人一人が責任ある行動をとるようお願いします。

新型コロナウイルスの陽性となってしまった患者さんは今、大変な痛みや苦しみと闘っています。そしてご家族は、大切な人の症状を心配し不安な日々を送っています。どうか皆さん、治療に専念させてあげてください。これ以上の精神的な苦しみを与えないでください。ご本人やご家族に対し温かく応援をしてください。

そして、医師や看護師など医療関係の皆さんは、自らの使命感と責任で私たちの命と健康、社会システムを守ってくれています。自分への危険、家族への心配がありながらも懸命に頑張ってください。そうした最前線で頑張ってくださいの方々に心から敬意と感謝の気持ちを送りたいと思います。

自分を守ること、そして自分の大切な人を守る行動が社会を守ることにつながります。全市一丸となってこの難局、困難を乗り越えることができるよう最大限の努力をしてまいりましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

須田博行